

シャトル・クルーズ

人間の可能性

皆さんは、パラリンピックという言葉やリオ・パラリンピック大会があったことは知っていますね。でも、パラリンピックの意義や歴史を知っている人は、意外に少ないのではないのでしょうか。パラリンピックというのは、オリンピックと同じ年・同じ場所で開催される、肢体不自由の身体障がい者を対象とした競技大会の中で世界最高峰の障がい者スポーツ大会のことです。この大会の起源は、1948年7月28日イギリスのストック・マンデビル病院で行われたストック・マンデビル競技大会です。この大会は、第二次世界大戦で脊髄を損傷した軍人のリハビリのために開催されたのがきっかけで開催されました。1972年からは、オリンピックとパラリンピックが同じ都市で行われるようになりました。また、パラリンピックという名称は、1988年のソウル大会から呼ばれるようになりました。パラリンピックという言葉は、障がい者にスポーツ活動の機会を提供する「機会均等と完全参加」という理念および「障がい者のスポーツのエリート性」を表しています。リオ・パラリンピックに身体障がい者競泳女子に出場した成田真由美さんは、パラリンピックの意義について、「人間が持てる能力を最大限に発揮すること、障害があっても残された能力を生かして、できなかったことをできることに変えていく。人間の可能性を引き出すことがこの大会の魅力であるとして、人間の可能性の素晴らしさを見る人に感じてほしい」と話しています。

私たちは、パラリンピックに出場している選手のパフォーマンスを見てみると、人間の体の機能のすごさを感じます。片腕(片足と義足)でどうやってバランスをとって走っているのかと不思議に思うことがあります。そして、体ってこういうふうに使えるんだと気づかされ、こういう体だったら、これはできないはずという固定観念を打ち破ってくれます。パラリンピックを観ることで、そのすごさに魅了されるだけでなく、一緒に生活するこの社会の中で障がい者に何が必要なのかを考える機会にすることが大切ではないかと思えます。2021年に開催予定の東京パラリンピック大会では、「人間の可能性」を意識して、日本選手はもちろんのこと出場している選手全員を応援したいものです。皆さんはどのように思いますか。

【今後の練習日程(予定)】 明るく楽しく部活(バドミントン)をやろう!

(6月) 練習時間・練習試合

- ・ 練習時間 平日 16時から18時まで
休日 10時から13時まで (6月27日はOFF、6月28日は練習あり)
- ・ 練習試合 予定なし

(7月) 練習時間・練習試合

- ・ 練習時間 平日 16時から18時まで、28日(月)外練
休日 4日(土)14時から、23日(木祝)13時から、
24日(金祝)14時から、25日(土)13時から
- ・ 練習試合(予定) 調整中
- ・ テスト期間の為 9日(木)から21日(月)までOFF 22日(テスト最終日)より再開

【顧問の先生より】 播磨先生よりメッセージ

やっと休校が明け、練習が再開でき、女子も男子も新入生が練習に参加してくれています。「羽が打ちたい」「体を動かしたい」気持ちは分かりますが、ケガをしたり体調を崩したり(先生は胃腸炎になりました)すると、また練習ができない期間ができてしまいます。なので、6月はしっかりと我慢して体を休校前の状態に戻し、7月を迎えられるようにしましょう。1、2年生は、「新人戦(県・近畿・全国につながっています)」、3年生は、「進路」と大変な時期に突入しますが、バドミントン部らしく、明るく楽しく乗り越えよう!